

②⑩ みんなが幸せになれる病院

2026/1/1

白子隆志

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

皆さんの「旧年」はいかがでしたか？昨年もこのフレーズではじまりました。

幸い、年末年始に日本国内では大きな災害などはなく大変喜ばしいことでしたが、海外では、アメリカが南米ベネズエラの首都に特殊部隊を派遣し、反米派のマデューロ大統領を捉えアメリカに輸送するというとんでもない事件が起きています。日本では駅伝を楽しんでいるさなかにウクライナやガザ、そして台湾問題など大国が小国に軍事力で介入・侵略する事態が現実には起こっています。人権・民主主義は単なる飾りで21世紀になっても結局独裁者による小国統治・植民地化が起こっています。アメリカの同盟国という御旗を立てて戦う高市総理には厳しい逆風が吹いています。

さて、平和な日本でも決して平和ではなくなっています。円安によって物価は上がり、少子高齢化で就業人口が減りどの企業も、いわんや病院も例外ではありません。

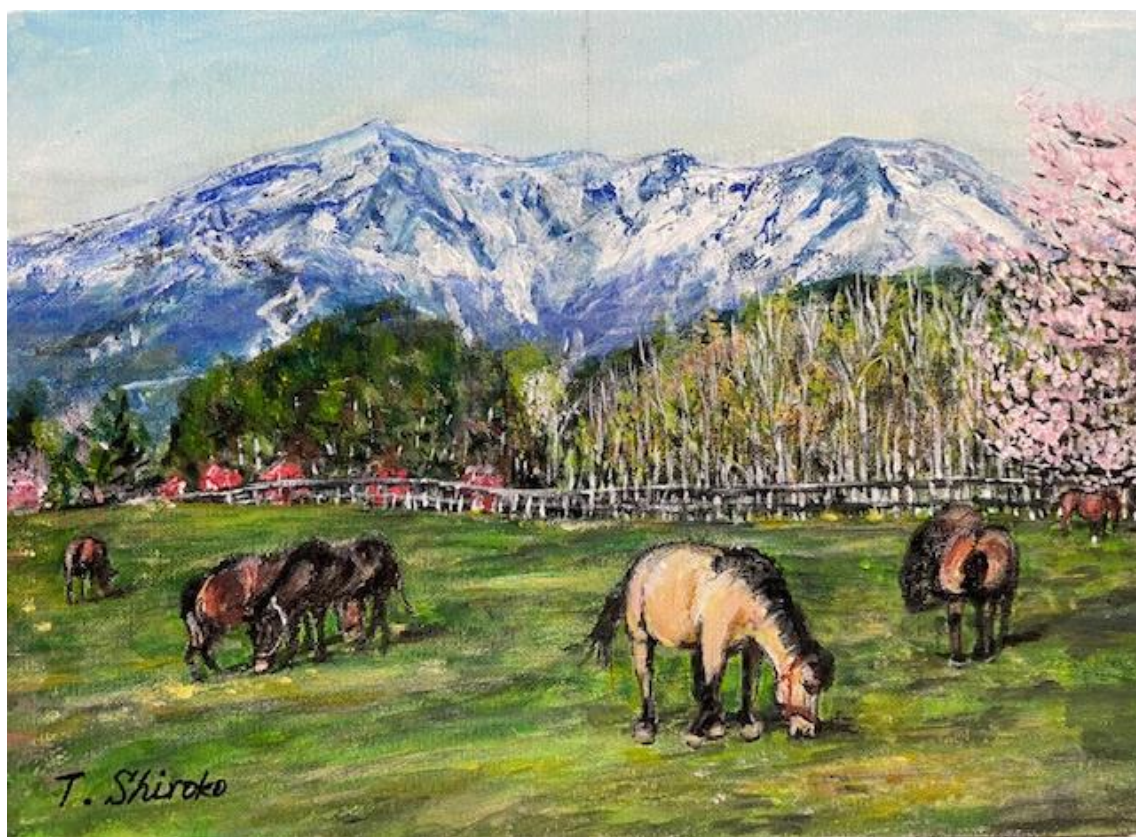
年末に私の後輩(相澤病院・高山日赤で働きウガンダにも派遣、5年前千葉県八千代市で開業)が本を出版しました。その中で、「職員の幸せが患者の幸せにつながる」と説いて様々なアプローチで患者・職員を増やし職員自ら考え、新しいチャレンジをしています。当然、人口減少・少子高齢化の当地域背景とはかなり異なりますが、基本的な考え方は僕も同じです。興味がある人にはお貸ししますので是非読んでみてください。



今年の目標は、「安心して働ける職場を作る」ことにしました。すなわち、医療安全の推進(医療事故が起きると患者・家族もスタッフも辛い思いをするから)とハラスメントの撲滅(楽しく仕事をできる環境)を目指します。そのためには「気軽にものを尋ねることができる」「自由な意見を言える」環境、すなわちスタッフ間のコミュニケーションづくりが重要になってきます。

医師だから、上司だからといってただ命令口調や態度をしてはいけない時代になりました。自分の行動が『鏡に映して相手の立場から見返して』良いか悪いかを判断してみてください。皆さんが日常で「言えない・聞けない」ことがないような病院にしたいと思います。

皆さんにとっても病院にとっても今年こそ良いことがあると信じています。幸せになれる病院・楽しい職場にするために是非皆さんのお力を貸してください。



木曽馬の里 御嶽山の春